



災害に備えよう郷原リーフレット(郷原小学校6年生作成)贈呈式

郷原小学校6年生(63名)が、郷原町まちづくり推進委員会に提案し、昨年9月から製作に取り組んでいた「災害に備えよう郷原リーフレット」が完成しました。

これは、呉市の「子どもまちづくり事業」を活用した事業で、昨年7月の豪雨災害を直接経験した子どもたちが、防災について学習し、その成果をまとめたものです。

完成に当たり、つぎのとおり、郷原小学校6年生から郷原町まちづくり推進委員会への贈呈式が行われます。

記

1 日 時 平成31年3月28日(木)10時～

2 場 所 郷原市民センター

「災害に備えよう郷原リーフレット」の概要

(1)代表者

- ・郷原小学校 6年生児童

(2)提案理由

・平成30年7月豪雨で、市内で25名の方が亡くなり、多くの被害が発生しました。この大変な災害をニュース等で知り、驚きを感じた郷原小学校6年生は、まず郷原町内の状況を調べました。その結果、郷原町内の多くの地域が土石流警戒区域に指定されているにもかかわらず、避難した人はわずかしかなかったことがわかりました。実際には、郷原町内でも多くの箇所で土砂崩れが発生し、危険な状態でした。今後、同様の災害が発生した場合に備え、避難行動の大切さを知ってもらうため、郷原町内の危険な箇所を調べ、避難準備を促すリーフレットを作成し、各戸配布することになりました。

(3)製作期間

- ・平成30年9月12日～平成31年3月15日

(4)リーフレットの特徴

- ・郷原町内の地図に、自宅、避難場所、危険な箇所、避難経路をシールで貼り付け、一人一人の避難マップを作れるようになっている。